

ヤクシカ・ワーキンググループについて

1 ヤクシカ・ワーキンググループの設置の目的

厳正な保護を図るべき屋久島世界遺産地域においてヤクシカの採食等により森林の植生や希少植物の生育等に悪影響が出ていることから、世界遺産地域におけるヤクシカ被害について対策を講じるにあたり、科学的知見に基づいた助言を得ることを目的として、屋久島世界遺産地域科学委員会設置要綱第4条第5項に基づきヤクシカ・ワーキンググループを設置する。

2 ヤクシカ・ワーキンググループの構成

【科学委員会委員】

矢原 徹一	九州大学大学院理学研究院教授(座長)
吉良 今朝芳	鹿児島大学元教授
荒田 洋一	樹木医(屋久島在住)
立澤 史郎	北海道大学大学院文学研究科助教
松田 裕之	横浜国立大学大学院環境情報研究院教授

【特別委員】

手塚 堅至	ヤクタネゴヨウ調査隊代表(屋久島在住)
矢部 恒晶	森林総合研究所九州支所森林動物研究グループ長
濱崎 伸一郎	(株)野生動物保護管理事務所関西分室長
杉浦 秀樹	京都大学野生動物研究センター准教授

3 経緯等

平成22年 7月28日 平成22年度第1回屋久島世界遺産地域科学委員会においてヤクシカ・ワーキンググループの設置について承認

平成22年10月15日 第1回ヤクシカ・ワーキンググループ開催

平成22年12月22日 第2回ヤクシカ・ワーキンググループ開催

平成23年 6月19日 第3回ヤクシカ・ワーキンググループ開催